

事務事業名	コード	39900	文化振興事業	予算科目	会計	款	項	目	事業種別	
		①	(文化振興事業)(文化施設の利用助成事業)		一般	10	4	2		
施策体系	基本施策	13	芸術文化の振興・伝統文化の保存	根拠法令	旭市文化振興基金条例、旭市文化振興規則ほか				☒	主な事業
	施策の展開	26	芸術文化の振興	戦略事業	129	文化施設の利用助成事業			☒	国土強靱化地域計画
	施策の展開			戦略事業	130	文化振興事業			☒	新市建設計画
									☒	定住自立圏構想
									☒	主要事業

(1) 事務事業の概要

① 事務事業の期間	② 事務事業の内容 ※何をどのようにする事務事業なのか、市民が理解できるように記述する、行政用語は使わない
☒ 単年度繰返 ☒ 平成 17 年度～ ☐ 開始年度不詳 ☐ 期間限定複数年度 平成 年度～ 平成 年度まで	文化振興事業(あさひ少年少女合唱団補助金を除く)とは、1. 千葉県東総文化会館にて主催のコンサート・寄席・音楽祭・あさひのまつりなどを開催し、2. 市内で活動する歌謡・舞踊などの団体に、東総文化会館を使用する際に文化施設使用料を助成する事業。 1. 主催事業 (有料):ロシア交流コンサート、あさひ寄席 (無料):市民音楽祭、あさひのまつり、市文化祭、文化講演会、スプリングコンサート、NHK公開番組 2. 使用料助成 歌謡、舞踊、カラオケ施設使用料の1/3を助成している。(上限、回数制限[年度1回限り]有)
③ 事務事業開始の経緯・事務事業の現状	④ 事務事業に関する課題・環境の変化
合併前の旭市文化振興基金、海上町文化振興基金に属していた現金、有価証券その他の財産により、新市文化振興基金を設置した。	文化振興基金は毎年ほぼ5,000千円以上の額を取り崩しており、H28年度末をもって基金を廃止し、一般会計に移行する。
⑤ 事務事業に対する住民からの意見等	
・文化振興審議委員会にて、基金の廃止について説明。H28年度末廃止、参加者から「身近に見てよかった」等の意見があった。 ・助成を受けた団体の発表者から「助成が年1回になったので、開催回数を年1回に減らした」といった意見があるほど、この文化会館を利用する団体にとって助成金のメリットは大きい。	

(2) コスト・特定財源の状況

① 事業費の詳細 (30年度の決算)		単位	千円	27年度 (決算)	28年度 (決算)	29年度 (決算)	30年度 (決算)	31年度 (予算)
1. 公演等委託料	8,834	有料公演事業委託料等	千円	5,509	5,851	5,636	8,834	8,760
2. 建物等借上料	3,825	千葉県東総文化会館施設及び附属設備利用料	千円	3,228	3,384	3,166	3,825	4,000
3. 報償金	1,355	合唱団講師謝金、自主事業特別出演者報酬	千円	1,420	1,338	1,360	1,355	1,355
4. 使用料助成	494	使用料助成金	千円	805	540	573	494	700
5. その他	2,162	印刷製本費等	千円	2,594	2,441	2,397	2,162	2,767
② 特定財源の内訳 (30年度の決算)		単位	千円	27年度 (決算)	28年度 (決算)	29年度 (決算)	30年度 (決算)	31年度 (予算)
1. 国庫支出金	0	国民芸術劇場公演費負担金	千円	13,556	13,554	13,132	16,670	17,582
2. 都道府県支出金	0	文化事業入場料収入	千円		1,018			
3. 入場料収入	4,745	文化事業入場料収入	千円	3,211	2,222	2,541	4,745	3,977
4. その他	4,089	地域振興基金繰入金、地域伝統芸能等保存事業助成金	千円	4,294	3,390	3,323	4,089	4,782
		5. 一般財源	千円	6,051	6,924	7,268	7,836	8,823

前年度増減理由	公演回数の増に伴う、公演等委託料、建物等借上料の増
---------	---------------------------

従事職員数	常時 2 人	最大 22 人	× 1 日 =	延べ 22 人
-------	--------	---------	---------	---------

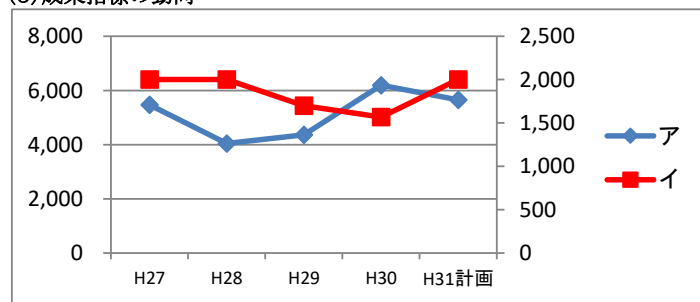
(3) 事務事業の手段・目的と対応する指標

手段	① 主な活動 30年度実績 (30年度に行った主な活動) NHK公開番組、ウィーン少年合唱団コンサート、千葉県こども合唱フェスティバル、旭市民音楽祭、あさひのまつり、さかなクンnoギョウワールド、アラカルトX'masキッズコンサート、あさひ寄席、スプリングコンサート、文化施設使用料助成	③ 活動指標名	単位	27年度 (実績)	28年度 (実績)	29年度 (実績)	30年度 (実績)	31年度 (計画)
		ア 主催事業開催回数 (文化祭除く)	回	8	8	8	9	7
		イ 使用料助成件数	件	13	13	13	12	15
目的	② 対象・意図 (対象がどのような状態になるのか) 対象意図 ① 市民 ① 普段味わえない質の高い文化を楽しむ。 対象意図 ② 市の文化団体・サークル ② 助成金のおかげで大きな舞台で発表することができる。	④ 成果指標名	単位	27年度 (実績)	28年度 (実績)	29年度 (実績)	30年度 (実績)	31年度 (計画)
		ア 主催事業 (文化祭除く) 観覧者数	人	5,473	4,044	4,365	6,193	5,650
		イ 助成によって参加できた団体の発表者数	人	2,000	2,001	1,698	1,568	2,000

(4) 事務事業優先度評価の結果

① 成果優先度評価結果		② コスト削減優先度評価結果		
施策貢献度	成果向上余地	コスト比率		
	かなりある	ある程度ある	ほとんどない	
大きい		②		
普通				(9)
小さい				

(5) 成果指標の動向



(6) 事務事業に関する評価

① 進捗状況	☐ 完了 ☐ 順調 ☒ 概ね順調 ☐ 停滞 ☐ 実施困難
【コメント】 (停滞・未実施・実施困難の場合、その理由)	
② 成果の状況	成果指標ア 成果指標のタイプ 数値増＝成果向上 ☒ 向上 ☐ 横ばい ☐ 低下 成果指標イ 数値増＝成果向上 ☐ 向上 ☐ 横ばい ☒ 低下
【コメント】 (低下の場合、その理由)	平成29年度に申請のあった団体のうち会員数の多い団体の申請が無かったため。参考 H29申請団体 13団体 H30申請団体 12団体
③ 今年度取組事項 (31年度に取り組む主な事項について記載)	時期 12月 内容 市民音楽祭など毎年の主催事業に加え、新規で子ども向けサイエンスショーを実施予定。 今後の方向性 拡大 ☐ 縮小 ☐ 現状維持 ☒ 廃止・休止 ☐ 見直し ☐ その他 ()
例年実施している市民参加型イベントや市民からも好評な寄席等の開催を継続できるように創意工夫や改善に努める。また、単に要望が多いからだけでなく質の高い文化イベントの提供についても考慮する。	